

箱崎環境対策協議会

第 2 号

中央区日本橋
箱崎町 34 の 8
電話 667-5667

新規加入企業名（順不同）
 一、三井倉庫オフィスビルディング 櫻
 一、東京シティターミナル内郵便局
 一、櫻口イヤルパークホテル

●協議会発足後初の総会開かれる
 去る五月二十四日ターミナル一階特別室にて初の総会が開催されました。創刊号にて述べた通り、箱崎環境対策協議会は役員会、実行委員会を基本として規約化され、着実に運営されてまいりました。この間四月四日地元四企業にこの環境対策協議会の理事として新規に加入して下さる様お願い申し上げた所快くご承認頂きました。今後は町会員と企業が一体となり益々充実した協議会が運営される事と思います。改めて皆様の御協力に感謝申し上げます。改めて総会にもこれら企業担当の方々の出席を頂き、無事終了致しました事を申しあげます。改めて総会次第は次の通りです。

一、二、三、四議議会開会

五、昭和六十三年監事会長選挙の報告書
 六、閉会の辞

一、江東区に於ける水上バス試乗見学
 一、三井オフィスビル水際堤防の見学
 一、タミナル下、地下鉄駅構内見学
 一、機関紙「はこざき」第二号の発行
 以上にて総会終了

五、昭和六十三年事業計画案
 ポルコード計画についての対応

六、閉会の辞



総会後の懇親会会場にて

●箱崎連合町会納涼大会日時決まる

今年も、恒例になりました富岡八幡宮蔭祭箱崎連合町会納涼大会へ子供フェスティバル

と盆踊りが行われることになりました。地元のみなさん、又他の地域より我が家まち箱崎に越してこられた新しい住民のみなさん共々老若男女、大勢の皆様が楽しく参加できる催し物を用意しております。

昼は模擬店、夜は盆踊りと、地域のコミュニケーションの場として、町の活成化を図ります。待ち致しております。

* 日時　八月十三日（土）十四日（日）

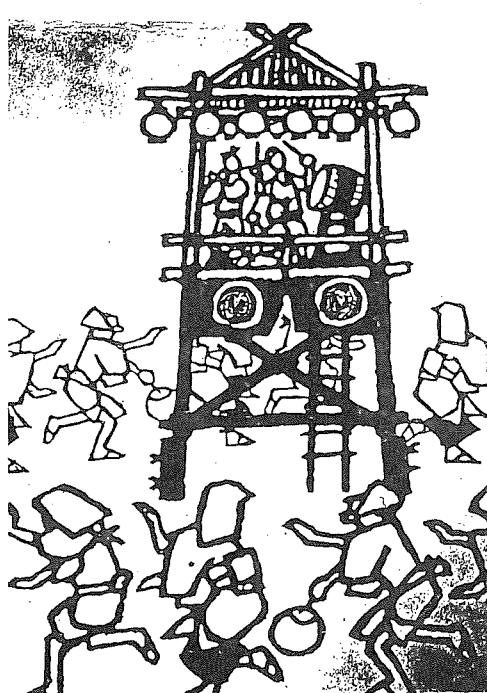
* 場所　箱崎公園及び日本橋高校々庭
 * 盆踊り　八月十三、十四日（校庭にて）

やきそば、金魚すくい、かき氷、電子銃ミニゴルフ、フランクフルト、水飴

詳細は、後日各町会より回覧いたします。

第二部、懇親会を別室にて開催し、華かな懇親会場に矢田区長をお招きして山森委員から御紹介に引続き区長の御挨拶を頂きました。六十二年十一月区役所の庁議室にて、道路整備計画、緑地化の要望書を皆様から頂いて居り区長としてもこの箱崎地区の皆様及び水天宮一帯周辺の代表の方々の御熱心な活動に敬意を表して居ります。どうかこの協議会をバイブルとして町会員の方々の御要望をどしどし役所の方にもお寄下さる様お願い申し上げます。今後の計画が成功する様祈念致しまして本日の御挨拶にかえさせて頂ます。

挨拶に引き続いて矢田区長に乾杯の音頭をお願いし拍手にて懇親会に移る。その後の協議会の運営に大いに励みとなりました。矢田区長離席の後、青木委員の大げんかにて無事懇親会を終了した次第です。



☆ふるさと箱崎

シンボルロード整備計画

「シンボル口一ド整備計画」
『箱崎のまち』が、動きはじめた。
時代の急速な変化で、川が埋められ、橋が撤去されたのは、遠い昔の事のように思える。現在、マンション、オフィスビルが軒並みに建設、計画され、それに伴ない新しい住民もかなり増えてきている。近々、地下鉄も開通する予定である。そのような状況下で、地下鉄出入口問題を契機として、箱崎住民は、三ヶ町の役員を中心に我が町の将来を語り合ふべく、まちづくりの会を結成した。それが「言うまでもない『箱崎環境対策協議会』」である。協議会において何度も何度も会合を持った。そしてまちづくりを積極的に推進する中央区行政に対し、地域として一つの方向を示した。

協議会の話し合いでは、箱崎会館づくり、

協議会の話し合いでは、箱崎会館づくり、箱崎公園の整備、道路の整備、公害の問題など、将来を考えて行政に対する要望として、いろいろと話し合われた。しかし、現在の箱崎は、陸の孤島になつてゐる現況を考えると、シルクロードではないが、「文化は道から」という考え方で、「その地を発展させるには、まず道を整備することではないか」と考えた。言い換えると道を整備し、動脈として血を通わせるという考え方である。その方向を協議会全員の賛意により決議し、隣接の蛎殻町の四つの町会に協力、同調を求め、昨年中央区長に要望書を提出した。その住民の根強い運動が今年の区の予算に計上された「シンボルロード整備計画」である。

区では「シンボルロード整備計画」という街路整備事業を次のように位置づけている。
（1）事業の目的
ゆとりと潤いのある都市環境、生活環境の形成を求める区民の声が高まる中で、主要な公共空間である道路空間についても時代のニーズにふさわしい親しみと潤いある環境の整備が強く求められている。

備が強く求められている。このような背景から都市の顔となる街路について、これにふさわしい街路創りをめざすもので、地域の特性を生かした整備を行うことでの、区民の憩いの場、コミュニケーションの場、祭りの場など、その地域のシンボルとなる空間の形成を図る事を目的とする。

そのためには、舗装の改良だけでなく、並木の充実、照明灯のデザイン化、架空線の地中下、コミュニティスペースの確保等が図られる道路構造とする必要がある。

以上のように、中央区のモデルケースとして、今年調査をされ、来年度から具体的に整備されていくことになつていて、ともあれ、行政に対する要望は、派手さが求められ、近視眼的になりやすい中、このような地域の地味な運動は、将来に向かつて入団論で正しい選択であつたと言える。そして今後の限りない発展の出発点に立つたと認識される。そして最後に我々が追い求めるのは、「住んで良かつた『ふるさと箱崎』」である。『箱崎のまち』は、動き続ける。

編集部だより

前回の創刊号に対して沢山の方々から、あたたかい励ましのお言葉から厳しい御意見いろいろとお聞かせ頂きました。私達素人編集部にとつては全く有り難い反響として受け止め今後の糧とさせて頂ます。誠にありがとうございました。

今回は『見やすくわかり安く』をモットーに編集した積りですが、如何でしようか御意見の中に、新しく箱崎に引越しして来られた方の希望として、次の機会にこの町の史跡等も紹介してほしい、と言う意見がありました。私達の町箱崎は、その昔は大川の三角州だつた様ですが江戸の発展と共に大きな庭園のある大名屋敷や豪商の蔵屋敷であつた時代もある様です。日本銀行の発祥地も箱崎なんですよ。今住んでいる家の下が大名屋敷の蔵の跡で大判、小判がザックザック、かな。是非今回も御意見御感想をドシドシお寄せ下さい。



中央区役所三階庁議室にて



矢田区長に要望書をてわたす